

3-(5) 道路工品質管理一覽表

種別	試験区分	試験項目	試験基準	規格値	試験値又は管理値						備考 (試験方法等)	
					No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6		平均値
路床工	材料	土の突固め試験	当初及び土質変化時								JIS・A1210	
		CBR試験(路床)	当初及び土質変化時								JIS・A1211	
	施工	現場密度の測定	路体 1,000m <sup>3</sup> に1回	最大乾燥密度の 85%以上		No.			No.		最大粒径53mm以下 砂置換法 JIS・A1214 最大粒径53mm超 突砂法	
			路床 500m <sup>3</sup> に1回	最大乾燥密度の 90%以上		No.			No.			
	ブルーフローリング	路床仕上げ全幅 全区間について実施			良好 不良(内容: ) ※不良の場合の措置:						舗装調査・試験法便覧(4)-210	
下層路盤工	材料	突固め試験	当初及び材料変化時								JIS・A1210	
		骨材のふるい分け試験	当初及び材料変化時	40~0mm 53mm 100% 37.5mm 95~100 19mm 50~80 4.75mm 15~40 2.36mm 5~25							JIS・A1102 JIS・A5001 表2参照	
	施工	修正 CBR 試験	当初及び材料変化時	粒状路盤 20%以上							舗装調査・試験法便覧(4)-5	
		425 μ mふるい 通過分のPI	当初及び材料変化時	9以上							JIS・A1205	
	現場密度の測定	1,000m <sup>2</sup> に1回	締固め度 % $\bar{X}_{10} \geq 95$ $\bar{X}_6 \geq 96$ $\bar{X}_3 \geq 97$ 但し10回に9回は93.0%以上 平板載荷試験 k30=15g/cmf		No.			No.		舗装調査・試験法便覧(4)-182		
	ブルーフローリング	仕上げ全区間について実施			良好 不良(内容: ) ※不良の場合の措置:						舗装調査・試験法便覧(4)-210	
粒度調整路盤工	材料	突固め試験	当初及び材料変化時	40~0mm 25~0mm							JIS・A1210	
		骨材のふるい分け試験	当初及び材料変化時	53mm 100% 37.5mm 95~100 31.5mm 100% 26.5mm 95~100 19mm 60~90 13.2mm 55~85 4.75mm 30~65 30~65 2.36mm 20~50 20~50 425um 10~30 10~30 75um 2~10 2~10							JIS・A1102 JIS・A5001 表2参照 舗装施工便覧(表-3.4.3)	
	施工	修正 CBR 試験	当初及び材料変化時	80%以上(アスファルトコンクリート再生材90%以上)							舗装調査・試験法便覧(4)-5	
		425 μ mふるい 通過分のPI	当初及び材料変化時	4以下							JIS・A1205	
	現場密度の測定	1,000m <sup>2</sup> に1回	締固め度 % $\bar{X}_{10} \geq 95$ $\bar{X}_6 \geq 95.5$ $\bar{X}_3 \geq 96.5$ 但し10回に9回は93.0%以上		No.			No.		舗装調査・試験法便覧(4)-182		
	粒度	1,000m <sup>2</sup> に1回	2.36mm ±15%以内 75um ±6.0%以内							舗装調査・試験法便覧(2)-14		
アース	材料	骨材のふるい分け試験	当初及び材料変化時	(13) 19mm 100% 13.2mm 95~100 4.75mm 85~100 2.36mm 35~50 600um 18~30 300um 10~21 150um 6~16 75um 4~8							JIS・A1102 JIS・A5001 表2参照	
		骨材の密度及び吸水率試験	当初及び材料変化時	表乾密度 2.45g/cm <sup>3</sup> 以上 吸水率 3.0%以下							JIS・A1109 JIS・A1110	
	施工	骨材中の粘土塊量試験	当初及び材料変化時	粘土、粘土塊量: 0.25%以下							JIS・A1137	
		粗骨材の形状試験	当初及び材料変化時	細長、あるいは扁平な 石片:10%以下							舗装調査・試験法便覧(2)-45	
	ファイラーの粒度試験	当初及び材料変化時	600um 100% 150um 90~100% 75um 70~100%							JIS・A5008 舗装施工便覧 表3.3.17による		
	ファイラーの水分試験	当初及び材料変化時	1%以下							JIS・A5008		
プラント	施工	配合試験	配合ごとに1回 (50t未満は省略することができる。)		O.A.C	密度	理論密度	空隙率	飽和度	安定度	フロー値	O.A.Cとは最適アスファルト量 舗装調査・試験法便覧(3)-5 舗装調査・試験法便覧(2)-14
		粒度	1日1~2回(抽出の場合)	2.36mm ±12%以内(基準粒度) 75um ±5.0%以内(基準粒度)								舗装調査・試験法便覧(4)-238
		合材抽出試験	アスファルト量	±0.9%以内								舗装調査・試験法便覧(4)-238
	温度測定	1時間ごと	配合設計の混合温度。 185℃を超えてはならない								温度計による	
舗装工	施工	温度測定(初転圧前)	測定値の記録1日4回 (午前・午後各2回)	110℃以上							温度計による	
		現場密度の測定(コア密度)	1,500m <sup>2</sup> に1回	$\bar{X}_{10} \geq 96$ $\bar{X}_6 \geq 96$ $\bar{X}_3 \geq 96.5$ 締固め度 % 但し10回に9回は94.0%以上							舗装調査・試験法便覧(3)-91	
	施工	アスファルト量抽出試験	1,500m <sup>2</sup> に1回	$\bar{X}_{10} \pm 0.55$ $\bar{X}_6 \pm 0.50$ $\bar{X}_3 \pm 0.50$ % 但し10回に9回は±0.9%以内							舗装調査・試験法便覧(4)-238	
		粒度(2.5mmふるい)	2.36mmふるい 1,500m <sup>2</sup> に1回	$\bar{X}_{10} \pm 8.0$ $\bar{X}_6 \pm 7.5$ $\bar{X}_3 \pm 7.0$ % 但し10回に9回は±12%以内							舗装調査・試験法便覧(4)-238	
	粒度(75umふるい)	75umふるい 1,500m <sup>2</sup> に1回	$\bar{X}_{10} \pm 3.5$ $\bar{X}_6 \pm 3.5$ $\bar{X}_3 \pm 3.0$ % 但し10回に9回は±5.0%以内							舗装調査・試験法便覧(4)-238		